

## 令和6年度 国立国語研究所 運営会議（第5回） 議事概要

日 時：令和7年2月28日（金） 14：00～15：50

場 所：Web 会議

出席者：伊東委員、金水委員、呉人委員、近藤委員、滝浦委員、田中委員、皆川委員、  
浅原委員、石黒委員、小木曾委員、小磯委員、高田委員、松本委員、前川所長

議 事：議事に先立ち、事務局より、「国立国語研究所運営会議規程」第5条第1項及び「国立国語研究所における教授及び准教授候補者内部選考内規」第8条による定足数の確認が行われた。

### <前回議事概要確認>

#### （1）第3・4回議事概要（案）について

議長から、資料1に基づき、「令和6年度国立国語研究所運営会議（第3・4回）議事概要（案）」について説明があり、原案のとおり了承された。

### <審議事項>

#### （1）教授（研究系）の内部選考（昇任）について

石黒人事委員会委員長から、資料2に基づき、第3回運営会議で審議の開始が承認された准教授の教授昇任人事について、人事委員会における審議結果の説明があり、同委員会から推薦のあった3名に対する投票を行った結果、3名全員の教授昇任が承認された。

#### （2）クロスアポイントメント制度にかかる教員の採用について

所長から、資料3に基づき、次世代言語科学研究センターにおける共同研究の支援及び各種言語研究データの統計モデリング研究を推進するため、科学技術振興機構（JST）が実施している「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）」に基づき、令和7年4月1日付けで助教1名を採用する旨の説明があり、原案のとおり了承された。

#### （3）令和7年度客員教員について

冒頭、議長から、本議題は自身が対象となっているため審議開始時に退席すること、退席中は副議長が司会進行することについて説明があった。

議長退席後、所長から、資料4に基づき、来年度の客員教員候補者について説明があり、原案のとおり了承された。

#### （4）名誉教授称号授与者の選考について

本議題も議長が対象となっているため、引き続き副議長が司会進行した。

所長から、資料5に基づき、対象者の経歴及び功績について説明があり、審議の結果、原案のとおり名誉教授の称号を授与することが了承された。

## <報告事項>

### (1) 特任研究員（言語資源開発センター特任助教）の選考について

所長から、資料 6 に基づき、文化庁受託事業にかかる言語資源開発センター特任助教の公募を実施し、人事委員会で選考した結果、2 名を採用することが決定した旨報告があった。

### (2) 研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業に係る機構特別研究員の雇用について

所長から、資料 7 に基づき、日本学術振興会において、受入機関で PD 等の直接雇用を可能とする「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」が開始されたことから、国語研においても支援事業に登録し、PD 等の身分の安定、処遇の改善を図ることとした旨説明があり、併せて令和 7 年 4 月 1 日付けで 2 名雇用予定である旨報告があった。

### (3) 令和 5 年度外部評価報告書について

自己点検評価委員会委員長から、資料 8 に基づき、9 月 19 日に外部評価委員会を開催し、決議された評価結果をもとに令和 5 年度の外部評価報告書を作成した旨報告があった。

また、外部委員から、将来の研究の方向性に関する助言を来年度以降のプロジェクトの進め方に活かして欲しいとの意見があり、次期プロジェクトを検討する将来計画委員会において、意見を参考にしつつ議論を進めたいとの説明があった。

### (4) 国立国語研究所における令和 6 年度基幹研究の活動状況について

自己点検評価委員会委員長から、第 3 期中期目標・計画期間に作成していた「業務実績報告書」に代わるものとして、資料 9 のとおり、機関拠点型基幹研究プロジェクトの活動概要を作成した旨の説明があり、各プロジェクトとも、ほぼ計画どおり活動が進められているとの報告があった。

### (5) 国立国語研究所令和 7 年 4 月改組について

所長から、資料 10 に基づき、令和 7 年 4 月 1 日付けで言語資源開発センターを共同利用推進センターに統合し、次世代言語科学研究センターとの 2 センター体制に再編すること、4 月以降の副所長の業務分担について報告があった。

### (6) 令和 7 年度当初予算配分（案）等について

所長から、資料 11 に基づき、人間文化研究機構本部から令和 7 年度運営費交付金の当初予算配分（案）が示された旨報告があった。

報告を受け、委員から、予算（案）中の「E3P-Linguistics の確立」に関連して、次世代言語科学研究センターにおいて国語研が公開しているデータ・アーカイブスを、GitHub リポジトリを活用するなどして体系的に保存・公開することを行えば、世界からのアクセスが容易になるとともに標準化され、予算獲得の方策にもつながるのではないかとの提言があり、所長から、実現に向けて前向きに検討したいとの発言があった。

### (7) 共同利用型共同研究の採択報告について

所長から、資料 12 に基づき、11 月の運営会議後、共同利用型共同研究（A）5 件、共同利用型共同研究（B）2 件、共同利用型共同研究（C）1 件が採択された旨報告があった。

### (8) 国立国語研究所の活動について

所長から、資料 13 に基づき、学術交流協定の締結・更新、研究所の運営・体制、イベントの開催状況、広報・社会貢献活動等、国立国語研究所の活動状況について報告があった。

## (9) その他

### ・次回開催日について

議長から、次回開催日については、次期委員の確定した新年度早々に日程照会を行い決定すること、第1回運営会議は6月中旬から7月上旬に予定している旨説明があった。

最後に、現委員の任期が今年度末までとなっているため、退任予定の委員及び外部委員から挨拶があった。

以上